

## 吹付けアスベスト使用施設 5000 ヲ所以上未処理



総務省は、昨年 11 月 29 日に発表した「吹付けアスベスト使用施設及び処理状況の調査」に関するフォローアップ(継続)調査の結果を取りまとめ、公表しました。それによると、前回調査時よりも調査中の施設が大幅に減少しているものの、「未処理」が 5,486 ヲ所も残されているなど、対策が行き渡っていない状況が浮き彫りとなりました。

調査は、全国の地方自治体を対象に、1996 年以前に竣工・改修した自治体所有の建築物について、吹付けアスベストやアスベスト含有吹付けロックウールの調査・処理状況を調べたもの。調査結果を見ると、前回調査では「調査中」の施設が 33,530 ヲ所ありましたが、今回 2,739 ヲ所となり、調査が迅速に進められていることが分かります。

一方、処理状況を見ると、アスベストを使用している 12,773 ヲ所のうち、

- ・ 除去済み — 3,666 ヲ所
- ・ 処理済み — 3,621 ヲ所
- ・ 未処理 — 5,486 ヲ所

となっています。このうち 3,406 ヲ所は今年度中の処理予定となっていますが、残る 2,080 ヲ所は来年度以降に持ち越される見込みです。

同省では、アスベスト使用が確認され、ばく露の恐れのある施設を所有する自治体に対して速やかに除去・封じ込めなどの対策を講じるよう要請するとともに、調査中の施設を有する自治体に対しても継続して調査を実施するよう求めています。

当社では、大気・建材等のアスベスト分析を行っております。お気軽にお問い合わせください。

資料 2006 年 5 月 17 日付 環境新聞

環境分析箇所 重田郁美